

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

幸福度と生産性について 大竹 文雄 (大阪大学教授)

1. 私たちのやる気は、健康状態だけでなく、その日の気分にも影響を受ける。もし、人々が幸福な気持ちになれば、仕事へのやる気が高まって、生産性が高まるなら、家庭でも、職場でも明るくなるような工夫をすることで、同様の効果が得られるはずだ。生産性が高まれば、所得が増えて、幸福度も高まり、さらに生産性が高まるという好循環になる。
2. 逆に、暗いニュースが続くと、人々の生産性は低下して、所得が下がり、幸福度も下がって、さらに生産性が低下するという悪循環に陥ることになる。では、幸福度が高くなると生産性が高まるというのは、本当だろうか。最近の研究によれば、幸福度が高くなると、生産性が高まるうえ、忍耐強くなるそうだ。
3. 幸福度と生産性の関係について、イギリスのウォーリック大学のオズワルド教授やアメリカのサンタクララ大学のイフチャー教授らが興味深い実験を行っている。こうした研究は、まだまだ始まったばかりであり、多くの検証が必要だろう。それでも、人々が幸福になれば、生産性が高まり、将来のことを重視できるようになるのであれば、いいことばかりである。研究結果を信じて、仕事の前に、幸福な気持ちになるように心掛けることを実践して損はないと思う。 (参考:「週刊東洋経済」2011年11月12日号)

ワンポイント経営アドバイス

創業の理念に立ち返る

1. 広島県三原市。JR三原駅から歩いて数分のところに4坪ほどの小さな店舗がある。まだ周辺の店が営業を始めるか始めないかの早朝にもかかわらず、多くの人が列を成す。店の名は「八天堂」。クリームパン専門店だ。商品が店頭からなくなると売り切れ御免。ほぼ昼前には営業を終えてしまう。首都圏と関西にも進出、毎日広島から東京へ商品を空輸する。
2. 1933年の創業だが、一時「良い商品」ではなく「売れる商品」へと舵を切り、約100種類のパンを扱うようになった。事業拡大にもかかわらず、気がついたら全店赤字で多くの従業員が離れていった。追い込まれた結果「食べた人に喜んでもらえる良い商品を心を込めて提供する」という創業理念に立ち返り再成長軌道に戻った。

(参考:「日経ビジネス」:2011年11月21日号)

新規成長分野

外食のライバル中食業界

1. 中食事業を強化する動きが加速している。そもそも「中食」とは、家庭で調理して食べる「肉食」と外食の中間に当たる食事を意味しており、具体的には、持ち帰り弁当や総菜などである。とはいえ明確な定義はなく、市場規模は6兆円とも8兆円ともいわれる。
2. 中食市場が拡大する理由の一つは、働く女性や単身世帯の増加である。家事にかかる時間が減り、さらに少量であれば作るよりも買ったほうが食材のムダがなく、安価で効率的だ。さらに、近年は高齢者の利用が増加し、団塊世代などのシニア層にも「食事のもう一品」として選ばれるようになった。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2011年11月26日号)

古典に学ぶ

目的どおりにいかないときは、勇気を持って耐えよう

「よく事を通じて、勤勉であっても、目的通りに事の運びぬ場合がある。これはその機のいまだ塾せず、その時のいまだ到らぬのであるから、ますます勇気を鼓して持って忍耐しなければならない」

(解説) どんなに物事を知り、勤勉に努力しても、目指した通りにならないときがある。それはただ、タイミングが悪く、好機が訪れていないだけのこと。さらなる勇気を持って耐え忍ぼう。

(参考: 洪澤 健「洪沢栄一 100の訓言」: 日経ビジネス人文庫)